

■特集 有馬の魅力語る①
有馬名物・金泉の外湯
「金の湯」から秋の有馬散策を



関西の奥座敷・有馬の
歴史ある名湯を楽しむ



「金の湯」「銀の湯」支配人・阿南俊介さん

昨年末にオープンした「金の湯」は、有馬温泉名物・金泉（赤湯）に入れる唯一の外湯として人気を集めている。場所は湯本坂のわかれ道にあり、大正時代の建築を意識したという、有馬のまちなみにとけこんだ建物。湯船はそれぞれ竹をイメージした一の湯、紅葉をイメージした二のゆと、有馬の名所・名産からヒントを得た造りとなっている。こんこんと湧き出す金泉は、鉄分、ナトリウムを多く含み、身体をじつくりと温めてくれる。

また中に入らなくても、外には飲泉場、足湯がある。足湯は有馬散策を楽しむ観光客を中心に人気があり、5分〜10分金泉に足を浸けるだけで身体がぼかぼかと暖かくなる。気軽に利用してほしい。

支配人の阿南俊介さんのおすすめは、「金の湯」と、銀泉（無色透明の炭酸泉とラジウム泉）が楽しめる外湯「銀の湯」、有馬を愛

した豊臣秀吉と温泉の資料館「太閤の湯殿館」の入場券がセットになった共通入館券(1000円)。「秋の有馬を、温泉とともにゆっくりと巡ってください」と阿南さん。

■神戸市立有馬本温泉「金の湯」

☎078-904-0680

営業時間 8:00～22:00

(入館は21:30まで)

定休日 第2・4火曜と1月1日

料金 大人 650円

小人 340円

5歳以下 140円



有馬温泉の歴史や成分などを学ぶ「温泉ぎやらりー」

「ご休憩に…」 「有馬の工房」

ゆっくり休憩しながら、温泉や有馬を知ることができるギヤラリー、喫茶を楽しむことができるスペースが「有馬の工房」。1階「温泉ぎやらりー」では、日本書紀から始まる有馬温泉の歴史、温泉の成分、有馬の観光案内などがくわしく展示されている。奥にはお茶とお菓子がいただける喫茶コーナー、無料の休憩スペースがあり、外湯めぐりや有馬散策の合間にくつろぐ人々の姿が連日、多数見かけられる。

2階の休憩室、会議室は、利用1時間700円(洋室)、1000円(和室)と格安になっていて、グループで利用する人が多い。

3階には湯治客にむけた宿泊施設「小宿とうじ」が併設され、1

泊お二人様1万円ほどで宿泊することができ連泊割引あり。宿泊すると外湯「金の湯」「銀の湯」が無料で利用できる。素泊まりの簡易宿泊施設などで、長期滞在したい人におすすめ。場所は温泉寺や念仏寺がある寺町かいわいで、情緒ある風情を楽しむことができるのも魅力だ。また喫茶コーナー、多目的ホールから見える庭も情緒があり、秋には紅葉も楽しめそう



■定休日 第4火曜・1月1日
■開館時間 9:00～18:00
■問い合わせ
有馬の工房 ☎078-903-5554
小宿とうじ ☎078-904-0708
近くに駐車場(有料)あり



■特集 有馬の魅力語る②

有馬温泉・月光園創業50周年インタビュー
洋の鴻臚館と和の游月山荘で
最高の温泉旅館をめざす

奥田 眞さん(月光園 代表取締役社長)



昭和28年創業の月光園が、本年度50周年を迎える。有馬の木々の中に佇む鴻臚館の勇壮な姿は、有馬温泉がもつ伝統や風格を体現している。奥田眞社長に50年の歩みをお話しいただいた。

下足番からのスタートだった

——創業時は、奥田社長は何をなさっておられましたか

奥田 月光園の創業は昭和28年。当時、私は東京の大学に通っておりました。大学を卒業後、私が長男でしたから自然と家業を引き継いだこととなります。仕事は、下足番からのスタートですよ。お客

さまの靴磨きを経験させていただきました。軍手をはめて、これがまた臭くてね。次は、風呂番や風呂洗いの経理をやらされたときには、帳簿が「花代」だらけで、館内に花なんか売っているところもないのに、おかしいなど不思議に思ったくらいですよ(笑)。

芸妓さんの揚代を「花代」ということすら知らなかったんだから。用途係のときは、大阪の中央市場まで買付に行っていました。こちらは素人だから、安い魚を高く買わされてしまう始末。旅館にもって帰ると、「こんな安もんは使われへん」と板さんに投げつけられたり(笑)。

——創業当時の月光園はどのような造りだったのでしょうか

奥田 当時は游月山荘と本館から成っていました。戦後すぐですから、日本の旅館には洋室もなければ、ロビーもないという状況でした。フロントカウンター、ベッドルームや客室にバスルームが付い



ていたことも当時としては画期的なことだったようです。

当時、政府登録旅館の認定が始まり出した頃で、日本が外貨を獲得するために、旅館の規制緩和を行って、外国人客を受け入れやすい環境を整えたのです。月光園が政府登録旅館の認定を受けたのが全国で78番目でした。

街への愛情が、有馬温泉の品格を育んだ

——50年を振り返っていただきまして、様々な出来事があったと思いますが

奥田 やはり第一の出来事といえば、阪神・淡路大震災でしょう。有馬温泉旅館組合長を仰せつかっておりました時に、400年に一度の震災に見舞われましたから。被災された方の中には、お風呂に入る事が出来ない方々が多数お

られましたので、お風呂を早く修復してくださいと各旅館にお願いいたしました。現在、有馬温泉では宿泊なしの日帰りプランが当たり前となっていますが、これも震災が契機となったと考えられます。

—— お客様の変化というものはいかがですか

奥田 この50年の歴史の中で、男性客と女性客の比率が逆転したことが特筆すべき点でしょう。有馬温泉全体が、風俗店がないということも女性が訪れやすい理由のひとつと考えられますね。昭和30年代に、有馬温泉も風俗店をもっと増やして男性客を呼んではどうかという意見もありました。我々は女性が安心して安全に歩くことができる清潔な温泉街あるべきだと主張を貫きました。今、思いますとそれが大正解でした。

—— 月光園といえば、鴻臚館の雄大な建物が印象的ですが



奥田 鴻臚館が、完成したのも震災のあった平成7年です。ちょうど建物の基礎を打ち終わって、棟あげをする段階で震災に見舞われました。鴻臚館をつくるときに、

和風にするか洋風にするかという議論がありました。有馬温泉は神戸市北区有馬町なので、神戸のロマンを感じさせる洋風の佇まいが相応しいと考えました。

—— 鼓力滝から流れる滝川に架かる月光橋は、有馬温泉の中でも随一の光景ですね

奥田 一時、有馬に蛍がいなくなることがあったのですが、有馬小学校の子どもたちがカワニナを放流したりして、今では水質が随分とよくなって、以前にも増してたくさんさんの蛍が飛び交っています。蛍の季節が終われば、かじかが鳴き出します。かじかの鳴き声と滝川のせせらぎの音を聞いていると、何とも言えない静寂感を実感する

ことができますね。

心の底から満足したと感じていただけの旅館を

—— 震災後、太閤の湯殿館、銀の湯、金の湯、有馬工房と新しいスポットが続々と誕生しましたね

奥田 金の湯の完成は有馬温泉全体にとっても念願でした。もともと、温泉会館の以前の建物は、「坊ちゃん」の舞台となった道後温泉にあるような歴史を感じさせる木造の佇まいでした。金の湯も有馬温泉がもつ歴史や伝統を受け継ぐ、素晴らしい建造物だと感じます。足湯も無料ですからよくご利用いただいているようですね。

—— 今後どのような旅館づくりを目指しておられますか

奥田 全てのお客さまのニーズにお応えするのは不可能ですが、お客さまは月光園にお泊りいただくことで、何らかの優越感を感じていただくためにお越しになるのだと考えています。金額的に高くても、心の底から「満足した」と感じていただけることが大切です。

遊月山荘も創業時からの建築物ですから老朽化が進んでいます。遊月山荘もリニューアルして、洋風の鴻臚館と和風の遊月山荘が月光園の双壁となるような旅館づくりが必要だと考えています。質的にも料金的にも満足していただける、最高の旅館づくりを目指していきたいですね。

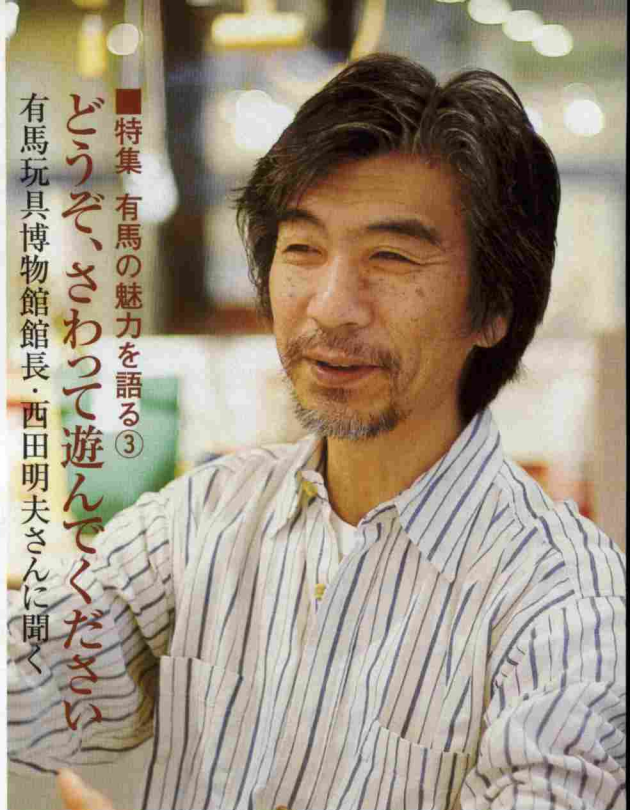


■入館料 大人(中学生以上)1000円 小人500円
■開館時間 9:30~18:00
■休館日 毎月第2・3火曜日(祝日は翌日休館)
☎078-903-6971
<http://www.arima-toys.jp>
神戸電鉄「有馬温泉」駅徒歩5分「金の湯」向かい

おもちやの博物館入口



■特集 有馬の魅力語る③
どうぞ、さわって遊んでください
有馬玩具博物館館長・西田明夫さんに聞く



ノスタルジックで
美しいおもちゃたち

有馬玩具博物館に展示されているおもちゃは約4000点。過去に人気を集めたおもちゃ、現在も作り出されている世界各国のおもちゃの中から、おもしろいもの、形や色が美しいもの、また5年以上作り続けられているもの、をコンセプトに収集されたものだ。「例えば4、5年前に「たまごっち」が爆発的に流行したけれど、ブームはすぐに去ってしまった。そういう大量に消費されていくおもちゃではなくて、長く愛された、または今も愛されているおもちゃを集めています。よいおもちゃは毎年生まれるので、展示物も増えていますよ」と西田さんは言う。「もちろんおもちゃなんて飾るものではなくて、遊んでなんぼのものです。展示してある極力さわられるようにしています」。

おもちゃはテーマごとに展示され、「ドイツの伝統的なおもちゃ」フロアは、くるみ割り人形の生まれ故郷、旧東ドイツのエルツ地方のおもちゃ職人による、色鮮やか

で美しい木製のおもちゃが並ぶ。「現代のおもちゃ」フロアは、スタップが実際に積み木遊びを「実演」。積み木は積み木だけではなく崩す楽しみもある。「現代のからくり・オートマタ」フロアは、動くしくみまでもデザインされた現代のおもちゃを紹介。その歴史を辿ると江戸時代の茶運び人形に代表される、からくり人形、浄瑠璃人形にまで遡る。「ブリキのおもちゃ」フロアは、アトムなど懐かしの玩具が並ぶ。日本のみならず、ドイツ、スペイン、チェコのおもちゃを紹介。各階スタップがおもちゃの歴史や遊び方を詳しく説明してくれる。子供も大人も遊べる博物館、ぜひ立ち寄って遊んでほしい。



和風ファミレス「有馬食堂」のタイ風鍋



「お料理はすべて自信をもってお出ししています」と港浩章マネージャー



オープンにあたり江戸前寿司の修業に出かけたという勝田英治料理長

有馬玩具博物館2階は「有馬食堂」。和風ファミリーストランと銘打つ通り、丼、定食、うどんなどの気軽な一品ものとともに、回転寿司が売り。衛生に気を使ったガラス張りのレーンの中で、回転している寿司ネタは、明石鯛(250円)、天然うなぎ(350円)、大トロ(550円)など、料理長みずから明石浦に買い付けに出かけている新鮮な魚介がネタ。三宮の寿司屋では数千円する活けネタが格安で安心していただける。季節ものの太刀魚(250円)、但馬牛あぶり(550円)など創作ネタもある。

そしておすすめはタイ風鍋「シヤムシヤモ鍋」(1人前1500円/2人前より)。名前はタイの昔の呼び名「シヤム」と、軍鶏をかけたシヤレ。タイでは一般的に楽しまれている鍋料理を、日本人好

みの味にアレンジしたもの。美方町で作られた無農薬有機野菜と、魚介をすりつぶしたつみれを鶏ガラのだしで煮て、タイ風の辛いタレやボン酢でいただく鍋で、とにかくたっぷり入る野菜が身体にうれしい。他にも但馬牛の厳選牛を使ったステーキ御膳(2800円)、黒大豆で作ったざる豆腐のトマト添え(550円)、秘伝豚角煮(600円)など、どのメニューにも手を抜かれていることはない。この食堂は、有馬でも人気の旅館「御所坊」が手掛けているので、旅館と同等の料理が、低価格で楽しめるといえる。これも、味にうるさい有馬温泉の旅館街にできたレストランならではの。



■営業時間 11:30~21:00(ラストオーダー)
■定休日 日無休
■☎078-903-6971



■特集 有馬の宿

壮大な大浴苑の日帰りプランが人気

有馬グランドホテル



展望大浴苑の女性用露天ハーブ湯(手前)とジャグジー

最上階の全フロアを利用した展望大浴苑からは、丹波の山々と有馬の街並みを見渡すことができる。この大浴苑と料理がセットになったお得な日帰りプラン「奏旬譜」が人気。料理は和食・洋食・中華からお好みで。料金は平日6000円、休日6500円(要予約)。宿泊の方には、料理人の腕が冴える、秋の味覚の「特別料亭プラン」、気軽な1泊朝食付きプランなどがあ



日帰りプラン「奏旬譜」の和食・小懐石

神戸市北区有馬町 1304-1
☎078-903-5489
<http://www.arima-gh.co.jp>

家族で楽しめる「足湯喫茶」が登場

兵衛向陽閣



家族や友人たちと気軽に楽しむことができる足湯喫茶

太閤秀吉公よりその名を受けたとする「兵衛向陽閣」。日帰りプランや宿泊の際には、10階のスーパードイニング「花の舞」のメインディングにて創作会席もし

くは、掘りこたつ形式の個室で楽しむ炭火焼き会席の2つのお食事処から選ぶことができ、この季節は秋の定番・松茸が登場。

昨年オープンした「足湯喫茶」は、宿泊客や日帰りプラン利用者は無料。美しい自然を望む庭園内にあり、ドリンク(500円)を飲みながら足浴が楽しめる。

神戸市北区有馬町1904
☎078-904-0501
<http://www.hyoe.co.jp>
足湯喫茶利用時間
9:30~18:00(喫茶は11:00~)



秋の味覚を満喫できるお料理

格式の高い有馬でも威光を放つ

月光園鴻臚館 游月山荘



秋の味覚を存分に味わう

有馬の名所・鼓ヶ滝から流れる清流・滝川を隔てて、月光橋でつながった鴻臚館と游月山荘。四季の移り変わりと共に彩りを変える、朧月山荘周辺の光景は、静寂館をかもし出している。ヨーロッパの古城を思わせる鴻臚館は、格式の高い有馬の中でも威光を放つ。大浴場をはじめ、趣向を凝らしたお風呂の数々など施設も充実。今年、創業50周年を迎え、来年3月31日まで記念プランも実施中。



テーマ風呂のひとつ「洞窟」

神戸市北区有馬町318
鴻臚館

☎078-903-12255

游月山荘

☎078-904-0366

<http://www.gakkoen.co.jp>

贅を極めた料理、もてなしの粹

欽山

静寂な竹林にたたずむ数寄屋造りの玄関を迎えられる。庭、建物、調度品に至るまできめ細やかなもてなしの心があふれ、「12歳未満はお断り」という徹底した大人の宿だ。

伝統の技が作る創作懐石料理には定評があり、食材は仕入れスタッフが全国に飛び、「その日その時によい食材」が直送され、調理される。

日帰りの「ご夕食休憩プラン・憩」は、2万円（1室2名）でお風呂と懐石料理がいただける。



贅をつくれた創作懐石料理



静寂につつまれた大人の宿

神戸市北区有馬町1302-4

☎078-904-0701

<http://www.kinzan.co.jp>

■特集 有馬の宿

朝日、夕陽を望む金泉露天風呂

銀水荘別館兆楽

温泉情緒あふれる有馬の街並みを見下ろし、目前には六甲の山並み、広々としたロケーションの中、客室

数37というゆったりとした雰囲気。敷地内から湧き出す金泉の露天風呂は、「あたこの湯・ひぐらしの湯」、新しく開湯した「樫の湯」では質の異なる金泉とラジウムたっぷりの銀泉も楽しめる。木立から昇る朝日、沈む夕陽を眺めながらのご入浴。レストラン「華筵」で季

節の会席料理に、入浴料プラス1800円で二ヶ所の湯巡りが楽しめる入浴プラン。



海の幸、山の幸の季節の息吹を感じる兆楽の料理



新しく開湯した「樫の湯」は木立の中の露天風呂

神戸市北区有馬町1654-1

☎078-904-3656

<http://nrjp.com/chyoraku/>

古きに新しきが融合した名旅館

陶涼御所坊



浴場「金郷泉」は仕切られているものの半混浴

1991年創業、「御所」の名からも想像できるように、天皇をはじめ位の高い人々が訪れ、谷崎潤一郎が逗留したことでも知られている。

その伝統の中に、15代目主人・金井啓修さんのアイデアが見事に融合しているのが魅力だ。送迎用のロンドンタクシー、蓄音機の置かれたサロン、やさしい白熱灯の灯りなど、今までにないネオジャパネスクの趣き。



ほんやりとした灯りがやすらぎを与えてくれる

山海の珍珠、そのものを大切にした料理も独特。

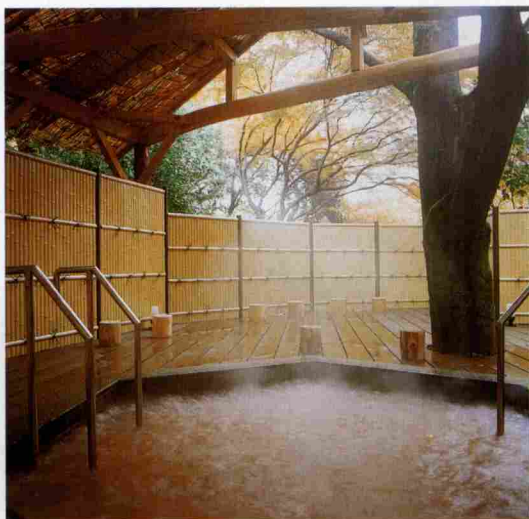
神戸市北区有馬町858

☎078-904-0551

<http://www.goshobo.co.jp/>

有馬随一の紅葉の宿

ねぎや 陵楓閣



「ひくらしの湯」の金泉露天風呂



鮮やかな紅葉に囲まれたねぎや陵楓閣の秋

「ねぎや」のいわれは、古くから神官の宿だったこともあり、禰宜（ねぎ）から「ねぎや」の名をつけた。楓の古木に囲まれた建物は、有馬一紅葉が美しい旅館と評判。毎日仕入れる新鮮な食材の日替りの懐石料理、木々に囲まれた2つの露天風呂は、ゆったりとした時の流れを演出し又、お風呂を気軽に利用してもらおうと、低料金もお手頃。入浴つきの日帰り料金は、

季節の味覚が詰まった二段重ね弁当「あじさい」など3500円。

神戸市北区有馬町

1537-2

☎078-904-0675

http://www.negiyajp

味覚の王様・松茸と自然を満喫

元湯 古泉閣



松茸をふんだんに使った豪華な精進料理



展望風呂「八角堂」



緑に囲まれたコテージ「ザ・ロッジ・アリマリゾート」

神戸市北区有馬町1455-1
フリーダイヤル0120-300-000
☎078-904-0731
http://www.kosenkaku.com

精進料理「慶月」では、松茸をぜいたくに使った松茸精進（8000円/サ込税別）が登場。古泉閣自慢の展望風呂「八角堂」又は「岩風呂」を利用することができる。また6万坪の広さと自然を誇る敷地内、ジャグジーバスがついたコテージ「ザ・ロッジ・アリマリゾート」を設置。10月31日まで、神戸牛ステーキコースがついた癒しの森プラン（1泊2食付1名15000円）を実施中。自然を満喫してほしい。

アットホームで心のこもったおもてなし

御幸荘花結び

「ふれあう心と心が、花で結ばれますように」という願いから名づけられた「花結び」。館内には野山の花、季節の花があふれ、客室やお風呂にも花にちなんだ名前がつけられている。

高級なイメージの強い有馬温泉の中であって、良心的な料金だが、お料理、お

風呂など料金以上の満足が得られる。有馬龍一の紅葉の名所で、11月の有馬大茶会の会場でもある瑞宝寺にも近い。

神戸市北区有馬町

1740-112

☎078-904-0166

<http://www.hamunsubi.co.jp/>



心のこもったお料理

女性占領の日は、男性客はお断り？ 竹取亭円山

利用客の70%が女性という竹取亭円山。その名の通り、かぐや姫に愛情をそそぐ翁のように、きめ細やかなサービスで人気を集めている。約40種類の浴衣からお好みのものを選べたり、料理人が各お座敷で天ぶらを揚げたり、御所車で運んでくれたりと実にユニークで女性好み。

その中でも極めつけが「女性占領日男性立入禁止日」。3月3日と7月7日の年2回開催される。この日は従来のサービスに加え、なんとこちらも夜に始まるビンゴゲームで、豪華景品が用意されている。

会場となるロビーには、続々と宿泊客がつかける。その数は100人近くにもなり、女性一色。まずは地元のジャズバンドによるピートルズのナンバーが。その



うちにダンスを踊り出す人の姿も。そしてメインイベントのビンゴゲームでは、一喜一憂する光景があらこちらで見られる。景品の方もビデオデッキから洗剤まで幅広い。女性たちも大満足した様子。

■竹取亭円山

神戸市北区有馬町

1364-11

☎078-904-0631

<http://www.takeoritei.com/>





鶏殿麻里絵の神戸老舗うまいもん巡礼
かまぼこ「かいや」
創業文政九年



▲六代目貝住晴士さん

▼「かいやの焼き通し」
(1枚 2,500円)
日本各地に発送可能
最初から最後まですべて
手作業でつくられるかまぼこ

神戸を代表する優れた老舗店である。でんぶんを使用せず鱧のすり身のみを贅沢に使い、焼通しといわれる独自の技法で仕上げられたかまぼこが手作業。「昔から原材料も技法も変えない。しかし人間が作るのだから味は毎日微妙に違う。だからこうして息のかかる範囲で一つ一つに気持ちを入れて毎日新しいものを作り続けていく事が大切です」と創業文政九年の暖簾を受け継ぐ六代目貝住晴士さんは話す。馴染みのお客がまたその子供へ、代々と顧客も続いていくようにかいやのかまぼこの歴史もまだまだ続いていく。修行中の七代目一弥さんが師匠であり父である六代目の話に静かに耳を傾け同じようにその作業を繰り返す。

感動を呼ぶ味にはその職人の情熱が込められている。忠実に代々の味を再現しながら、自分の信念を貫き通す事こそが本当の意味で老舗の味を守っていく事なのではないだろうか。

【かいや】

神戸市兵庫区本町1-4-16
☎078-67115647
午前9時〜午後5時 日祝休み

鶏殿麻里絵 フリーライター
昭和53年3月生まれ(25歳)
創業86年の老舗料亭「松酒家」の4代目、食のフリーライターとして雑誌・新聞等で活躍中
今までに日本経済新聞土曜日夕刊に連載でコラムを執筆

神戸のお嬢さん

才能あふれる アーティスト

森脇正奈さん

(イラストレーター)

仕事柄、アーティストを目指す仲間達と、芸術論、現代アート、神戸芸術文化のこれからなど、話の花を咲かせる日も多いのですが、興味深い斬新な意見を聞かせてくれるのは、自由な考え方や行動範囲を持つ若い人達です。

推薦者
画家 村上美穂



その神戸を愛する若者の一人、森脇さんは、生粋の神戸生まれ神戸育ち。見るからに、おしとやかな日本のお嬢さんという感ですが、作品を拝見するとまさに現代風。今の時代の単純化された辛辣な風刺も多く、でも女性らしさの混じった不思議な作品。いろいろな団体でエネルギーッシュな作品を発表しておられます。これからも、その情熱の魂を神戸の文化のために、發揮してほしいと思います。



撮影／米田英男（須磨寺にて）

神戸のお嬢さん

楚々とした大和撫子

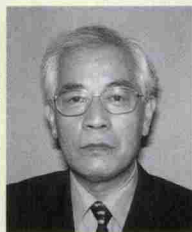
ばく
模亜希子さん

(会社受付)

宝塚時代の名が、「美森さやか」。その名のとおり舞台の上でも美しい娘役であった。一九九五年、音楽学校卒業直前、阪神大震災に遭うが、無事三月末「国境のない地図」で初舞台を踏み、憧れのステージに立ちました。

初舞台後は、花組に配属され娘役一筋で活躍、二〇〇一年に退団。その後

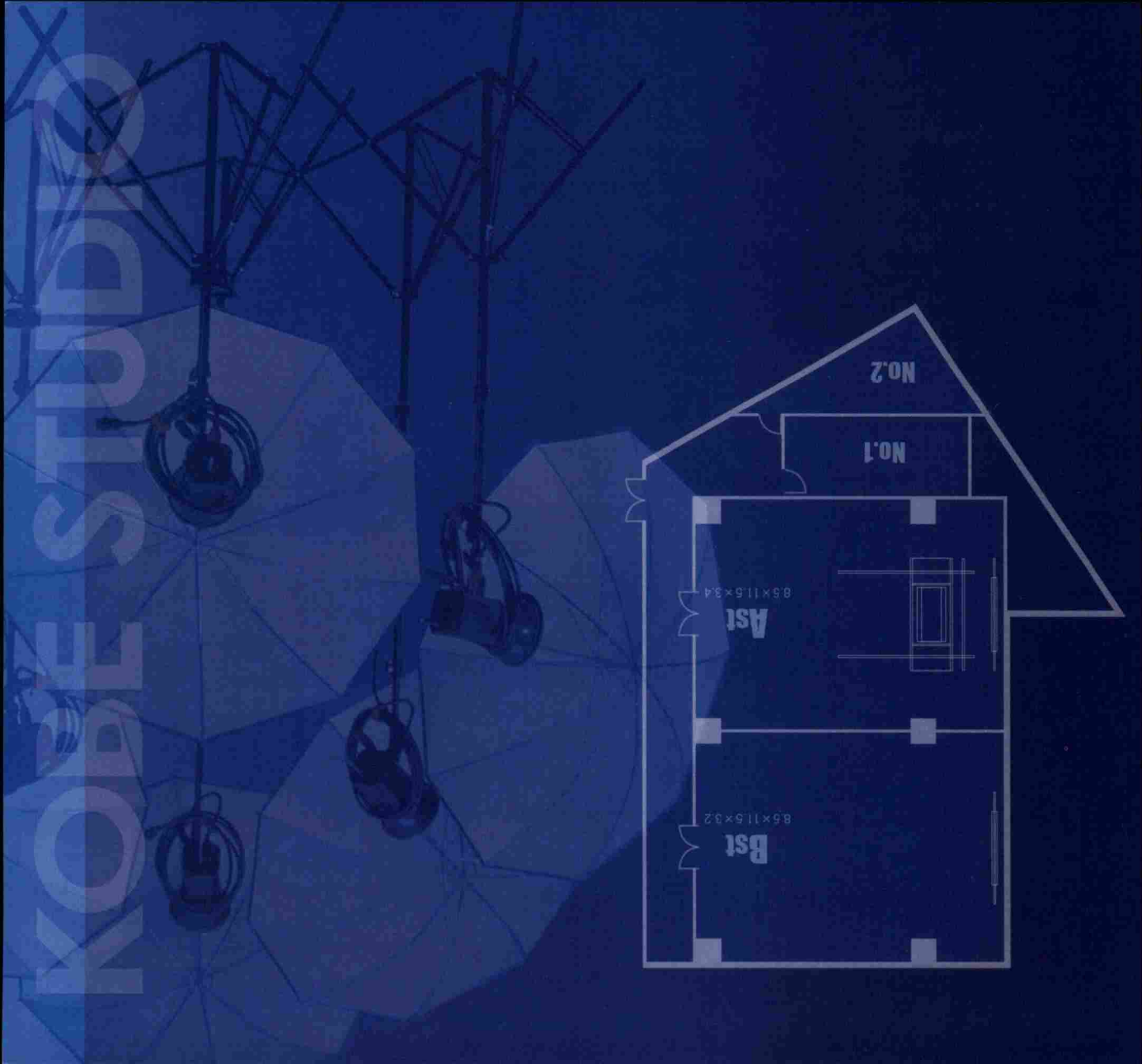
推薦者 重村 仁
株式会社アサツーディー・ケイ
副支社長



は自信の声を活かし司会業を勉強。イベント、結婚式などで、さわやかな声で多くの方々から拍手を頂いています。お父様は弁護士をなさっておられ、ご本人もその影響か、ハキハキと対応され、会う人を和やかな気分になさしてくれます。宝塚で学んだことが滲み出ており、現代っ子にありますがちな自分勝手さはなく、楚々とした中に大和撫子の姿があります。私としては仕事もいいが、早くいいお嫁さんになられたらいいなと思います。



撮影／米田英男（東遊園地にて）



KOBE STUDIO



あふれる笑顔



アルトバイエルンは、
愛され続けて5周年。



上質の豚肉をじっくり
熟成した
アルトバイエルンは、



パキッとした、
この歯ごたえが



とっても
おいしいんです。



ジューっとくる、
お肉のうまみと

発売5周年を迎えたアルトバイエルンは、これからも、みなさまにおいしさをお届けし続けます。あふれる笑顔。私は、アルトバイエルン。

パキッとジューシー。香りジューシー。



特定JASマーク

アルトバイエルン

上質の豚肉をじっくり熟成。

